

学生のための政策立案コンテスト2018

# Cチーム政策案

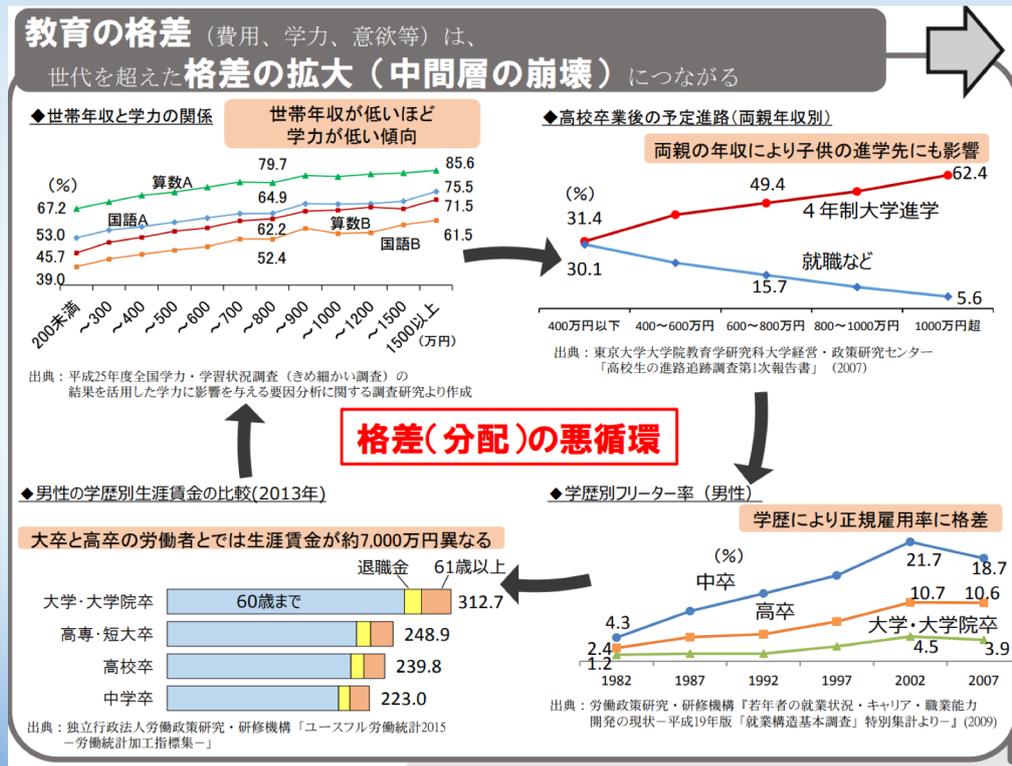
「健康循環都市2.0」のすすめ



# 理想:健康の「悪」循環を健康の「好」循環へ

## 現状と課題

- 低所得者の世帯の子供が十分な教育費と職業選択の機会に恵まれず、親の所得格差が子供の教育格差を生み、格差が連鎖している  
⇒ 所得格差と教育格差を断ち切る必要性
- 病気の発見が遅れ、  
⇒ 健康無関心層へのアプローチ

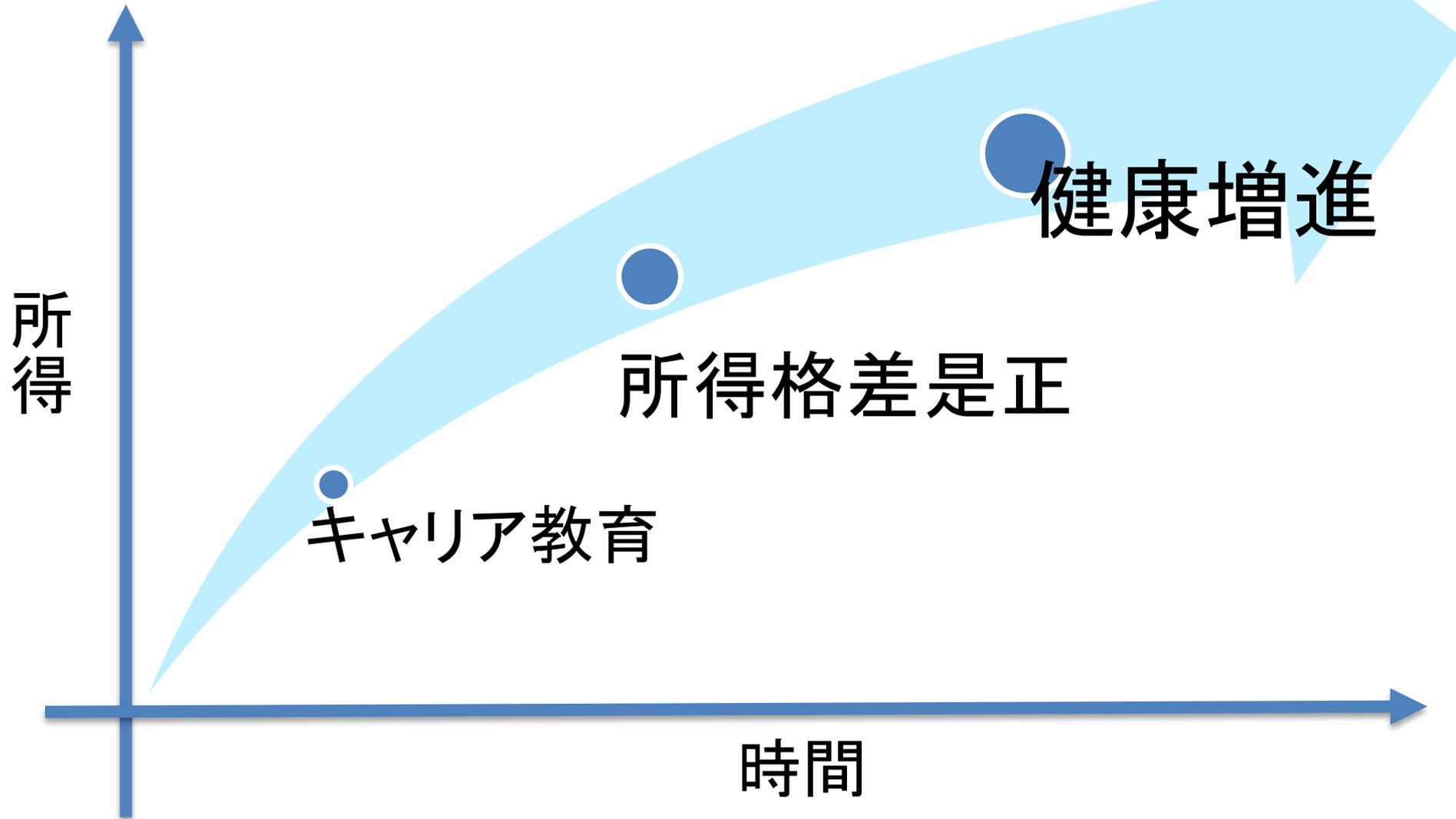


# 対象

親が非正規雇用の  
貧困な子ども



# ◆政策の全体像



「悪」循環から「好」循環へ

# ◆政策1「新」キャリア教育

新キャリア教育とは...？

学歴だけに固執しない新しい職業観の形成を柱としたキャリア教育

## 幼児教育における「非認知能力」向上教育

既存のキャリア教育で重視される「基礎的・汎用的能力」を、幼児教育段階から一律に教育する。各自治体の幼稚園開始年齢に合わせて保育園・認定こども園でも実施。

## 小中高における「キャリア」科目の設置

従来のキャリア教育を強化し、正式科目とする。地域の商工会議所等と連携した、体験型授業を実施し、学習意欲の低い層に対してもアプローチする。地域の様々な職業に触れ、最終的に地域の中小企業での就職を視野に入れた科目。

## 学童保育における地域交流の推進

学童保育に地域の仕事をリタイアした方をお招きし、自身の人生における職業キャリアなどを交流を図りながら伝えていただく。



# ◆小中高における「キャリア」科目の設置

職業体験

インターン

劇  
・  
ロールプレイング

地元企業の  
課題解決グループワーク

地元企業  
への就職

商工会議所と  
連携した職業体験  
ワークショップ

高専への  
見学授業

ハローワークとの連携

専門学校への見学

小

中

高



# ◆政策2 健康増進のガイドライン

## 健診受診率・病院受診率の向上

尼崎市のように、民間と共同した健診受診率の向上や病院受診率の向上などの、特に低所得の健康無関心層に対して先進的な取り組みを行っている自治体に、その医療費削減額に応じてランキング表彰し、上位の自治体に補助金を給付。

## 健康パスポート制度の導入

健診受診時に、保健所が健康パスポートを給付し、そのパスポートが1年以内の期限付きクーポンとなって、市町村ごとで選定された健康増進協力店舗で食事をとると、一定額の割引が得られる。また、選定された店舗には最初は補助金を給付するが、取り組みが進み、浸透するにつれて補助金をなくす。



# ◆政策のまとめ(所得格差を是正し、健康へと導く)

## 政策①「新」キャリア教育

学歴によらず、職業選択の幅が広がる

